



発行所
高知県立盲学校
高知市大膳町 6-32
TEL 088-823-8721
mo-s@kochinet.ed.jp

平成30年度スタート

いつもお世話になっております。盲学校です。今年度も地域の皆様に学校の様子をお伝えしてまいりますのでよろしくお願ひします。

さて、本年度は、幼稚部1名、中学部1名、高等部普通科1名、高等部保健療科1名の入学がありました。また、中学部2年生に1名の転校生があり、総勢21名でスタートしました。

教職員では、人事異動に伴い4名が退職、学校長を含め9名の教職員が他校への異動となりました。新たに学校長、事務長はじめ10名が着任しました。



着任のご挨拶
八木千晶

地域の皆様には日頃から本校の教育活動に對しまして、「理解」「支援をいただき厚くお礼申し上げます。高知県立盲学校に4月より校長として着任しました八木千晶と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

平成30年度本校は、幼稚部1名の幼児、小学部6名の児童、中学部5名、高等部普通科4名、高等部保健療科2名、専攻科療科3名の生徒の計21名でスタートしました。

今年度は創立90周年という節目の年に当たり、本校の盲学校として果たす使命・役割について、在籍幼児児童生徒の実態や地域・社会のニーズ等を踏まえ、今一度しっかりと考えていくことをテーマとしてまいります。

「笑顔」「夢」「感動」溢れる学校、地域の皆様が応援しがいのある学校を目指し、教職員一同、力を合わせ全力で邁進してまいります。

転出のご挨拶

宮地 暁男

盲学校の使命は、幼児児童生徒の健全やかな成長と進路実現を第一とすること。とは言ってもないことですが、周辺地域の皆さんとかかわりながら、何かできることはないだろうかと思いを巡らせた4年間でした。その思いが一步步に進み、福祉避難所の指定を受けるに至ったことは有り難いことです。今後も地域の皆様のご協力、ご支援をいただき、災害時に限らず、ふだんから盲学校が地域にあつて良かったと思つてもらえるよう応援していきたいと思ひます。

今、私は四万十川の畔にある、中村特別支援学校（児童生徒数98名、教職員99名）に勤務しています。こちらでも地域の皆様に支えていただき、そして幡多の文化を味わいながら、精一杯力を注いでいきたいと思ひます。

盲学校の幼児児童生徒及び保護者の皆様、そして、地域の皆様、さらに支えていただいた教職員の皆様に心よりお礼申し上げます。

平成30年度学校経営計画

一. 目指す学校像

「入学して良かった、入学させて良かった、働いて良かった学校になる」

①一人一人が確かな学力と専門的技術を身に付け、社会参加と自立に向けて学ぶ意欲を持てる学校

②一人一人の人格が尊重され、安心して学習・生活ができる環境が整った学校

③地域のニーズにこたえる、視覚障害教育のセンター的機能を有する学校

④教職員一人一人が教育公務員としての自覚と誇りを持ち、幼児児童生徒、保護者、地域から信頼される学校

二. 目指す幼児児童生徒像

「主体的に学習、行動できる幼児児童生徒」

①「まなぶ」自ら主体的に学ぶことができる幼児児童生徒

②「あゆむ」自ら障害に向き合い、自己実現に向けて積極的に行動できる幼児児童生徒

③「つながる」周りの仲間とのつながりを大切にし、社会参加できる幼児児童生徒

三. 重点取組項目

【専門性の向上】

①授業実践力、指導力の向上「主体的・対話的で深い学びの実現」及び「視覚障害のある幼児児童生徒の困難さの状態に対する手立ての工夫」を視座に置いた授業改善に努め、学校全体の授業力・指導力の向上を図る。

②視覚障害教育における専門性の向上「歩行指導」「点字指導」「情報教育」「生活技術」「弱視教育」「寄宿舎教育」の各分野において、専門性の維持・継承を行うため、キャリア、学部、職種を超えた人材育成を進める。

【視覚障害教育におけるキャリア教育の充実】

①将来の自立と社会参加につながる一貫した指導の充実を図るため、本校のキャリア

②教育の視点についての検討を進め、全体計画を作成するとともに、学校全体での取組を進める。

【センター的機能の充実】

視覚障害教育支援センターの重点取組項目を設定し取組を進めることによりセンター的機能の一層の充実を図る。

（地域支援・相談）

早期教育（0、1、2歳）対象者の開拓と乳幼児支援の充実

（理解啓発）

オープンスクール開催による理解啓発の推進

（自立活動）

教材、指導方法のデータベースの充実と活用の促進

（進路指導）

視覚障害児・者の卒業後の進路についての情報提供・発信

【地域と連携した学校安全の推進】

福祉避難所運営への取組を通して、地域との連携を深め、災害時に助け合える関係づくりを進めるとともに、校内の危機管理体制を更に充実させる。

福祉避難所の指定を受ける！

平成30年3月1日に、災害発生時において、一般の避難所での生活が困難な高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者（幼配慮者）を受け入れるための福祉避難所の設置運営について、高知県教育委員会と高知市との間で協定が締結されました。

今後は、地域の皆様と近隣の学校等と連携を取り、福祉避難所運営の役割等について協議を行い、災害時に備えて行きたいと思ひます。

平成29年度卒業生の進路状況

平成29年度は、小学部1名、高等部普通科2名、高等部保健療科1名、高等部専攻科療科1名が学び舎を巣だつて行きました。

小学部卒業生は本校中学部へ、高等部普通科卒業生の1名は高知県職員に採用、1名は県外の障害者支援施設へ入所をしました。また、国家試験に見事合格しました保健療科、専攻科療科の2名のうち、1名は有料老人ホームの機能訓練指導員として、1名は治療院開業に向けた取り組みを行っています。それぞれの学校や職場で頑張ってもらいたいと思ひます。

1学期の主な行事（5月～）

- 5月2日 校内弁論大会
- 5月19日・27日 県障害者スポーツ大会
- 6月2日 運動会
- 6月7日 中国四国地区盲学校弁論大会
- 7月20日～22日 中四国地区盲学校体育大会
- 7月27日 サマースクール（幼小）
- 8月4日 オープンスクール
- その他 火災避難訓練、校外臨床実習

お知らせ

寄宿舎及び学校の工事について

(1) 寄宿舎

- 平成30年10月頃 自活訓練等の解体
- 平成31年度 病弱特別支援学校の新築工事
- 平成32年度 盲学校寄宿舎改修（改修期間中は、病弱特別支援学校の舎を利用）

(2) 学校

- 平成30年度 校舎南側、グラウンド西側のブロック塀の改修
- 平成31年度 体育館天井等の改修（6カ月）